

広報 せいの

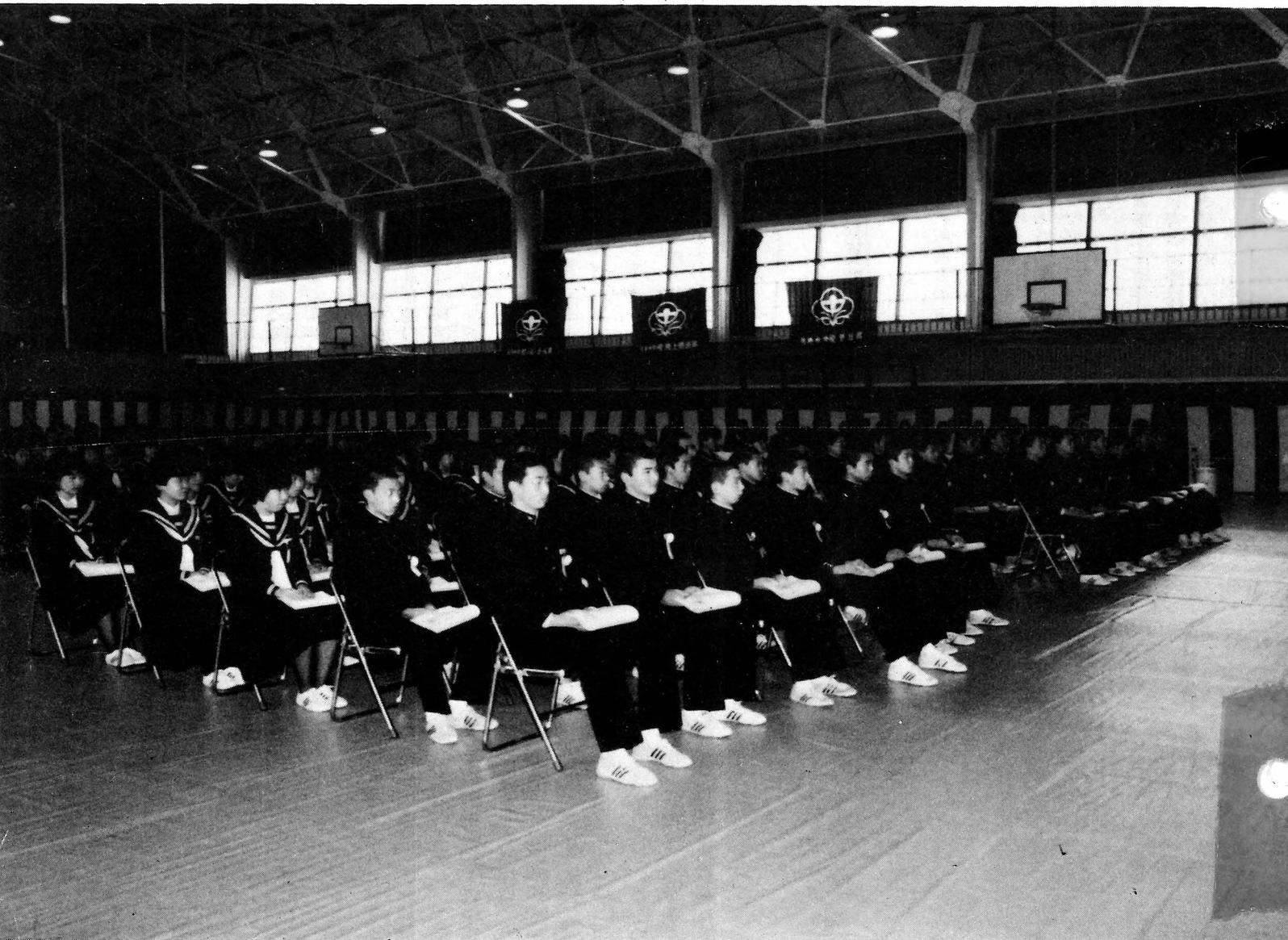
No. 174



3-28

編集と発行 佐井村役場 民生相談課
青森県下北郡佐井村大字佐井字糠森20番地
電話 (017538) (代) 2111

2月末現在人口(前月比)		
男	2,149	(- 1)
女	2,135	(+ 5)
計	4,284	(+ 4)
世帯数	1,146	(+ 4)



21世紀を担う

佐井中 卒業式

佐井村地域防災計画(最終回)

救難・救出計画

災害のため、住民の生命、身体が危険な状態にあるとき、または、生死不明の状態にある場合の捜索救出については、消防機関を中心に救出隊を編成し、警察署、海上保安部、自衛隊などの協力を得て活動が実施されます。

食糧供給計画、給水計画、衣料生活必需品等物資供給計画

避難所に収容された方、あるいは、住家に被害を受けて生活に困っている方に対して、主食、副食の配給と寝具、外衣、身の回り品、炊事道具、日用品などの生活必需品の配給を行う。飲料水については、一人一日1ℓ程度を供給する。このほか、この計画には、村民のみなさまの命と生活を守るため次のような計画が定められています。

- 避難所に収容された方、あるいは、住家に被害を受けて生活に困っている方に対して、主食、副食の配給と寝具、外衣、身の回り品、炊事道具、日用品などの生活必需品の配給を行う。
- 飲料水については、一人一日1ℓ程度を供給する。
- このほか、この計画には、村民のみなさまの命と生活を守るため次のような計画が定められています。
- 応急仮設住宅及び住宅の応急修理計画
- 医療及び助産計画
- 防疫

- 計画
- 清掃計画
- 障害物の除去計画
- 労務供給計画及び民間協力
- 死体の捜索及び収容処理並びに埋葬計画
- 応急教育計画
- 輸送計画
- 交通応急対策計画
- 水道施設応急対策計画
- 電力、電気通信施設応急対策計画
- 水防活動計画
- 消防活動計画
- 公安警備計画
- 自衛隊災害派遣計画
- 除雪計画

災害復旧計画

この計画は、公共施設の災害復旧と被災者に対する公的資金の融資、あつせん。被災者の租税の減免について定めています。

- 住宅災害復旧事業計画
- 公共医療施設、病院等災害復旧事業計画
- 学校教育施設災害復旧事業計画
- 社会教育施設災害復旧事業計画
- 災害復興住宅資金
- 世帯更生資金
- 母子福祉資金、寡婦福祉資金
- 村条例に基づく災害資金の貸付
- 商工農林漁業者並びに団体に対する融資

災害応急融資計画

公的資金の融資、あつせんを行い、被災者の民生安定を図ることとされています。

被災者の租税の減免

被災した住民に対して、租税の減免申請等に関する指導を行います。

- 村税の減免
- 県税の減免
- 所得税の減免等

電話局からのお知らせ

○ 仏ヶ浦地域集団電話が一般加入電話に変わりました。

この切り替えにより、市外通話も、全国どこへでも直接ダイヤルでつながるほか、プッシュホンやホームテレホンなどの電話も、利用できるようになりました。

かねて工事を進めておりました長後、福浦、牛滝地区の地域集団電話が、三月二十三日、午前十時から、一般加入電話に切り替わることになりました。同時に今まで、かかりにくい等の不便さが解消されることになりました。地域集団電話は、一本の回線に、五、六コの電話がついているため、話し中が多く、地域のみなさんから一般電話を望む声が出されていたものです。

これに伴って、当日から電話番号が、変更になる御家庭もありませんので、電話をかけるときは注意してください。(大間電報電話局)



戸籍の手数料が

かわります

戸籍手数料令の改正により、四月一日から次のとおり、戸籍、除籍の謄抄本の交付手数料がかわります。

	現行	改正後
戸籍謄本一通	二百円	三百円
除籍謄本一通	三百円	五百円

幻の佐井遊女お玉

(第五回)

佐井中央公民館長補佐

大石 健次郎

ペリー艦隊箱館へ

『前年の神奈川条約により、安政二年三月(一八五五)から、松前の代りとして、箱館を開港する。』

『その事前調査に、近くペリー艦隊が入港する』という、幕府からの突然の急報に、松前藩のおどろきは大変なものであった。

藩では、米兵の神奈川上陸の行動を参考として、市民に十八ヶ条にわたる、長文の解書を発して、その心得対応を指令している。

読みやすくすると、

(1)米船沖合に見えたら、人足、町人、役人みな持場へ駆けよ。盤木を打鳴らし、市中くまなく知らせよ。

(2)浜辺、屋根上などの見物厳禁。違反者は入牢。

(3)一般人は、商用なりとも小舟へ乗り、また海辺を徘徊するな。

違反者は入牢。

(4)港の船々大小たりとも、つなぎ合せ、船頭はきつく取締れ。

(5)下田での米兵は所々徘徊、みだりに人家へ出入り、食物を求めらる。婦女子に目をかけ、小児を愛し、寺院に長居など、欲心が深い、——老若、婦人一切の外出を禁ず。違反者は重罪。

(6)山背泊、築島、榎形、亀田浜、七重浜、などは婦女子の全部、男子年少者は、早々に立退け。

(7)他国者は早々に帰郷、遊民は直ちに退去させよ。

(8)牛飼者は、諸荷物を運送するな。牛は米兵から見える浜辺近くに決して放すな。

(9)炭、薪、青物などは、馬でなるべく運べ。米兵たちが近づいたら、途中から急ぎ引返せ。

(10)酒は米兵がすこぶる好むから、一切蔵へ入れ、店頭売買などするな。居酒屋停止。

(11)呉服、小間物、餅、菓子、履物

は店先へ出してよい。求められたら争いごとのなきよう与えよ。御礼品は一応返せし、どうしてもしようなら、役所へ届けよ。隠したりすると厳罰。

(12)米艦出入には大砲を打つ、おどろかず、決して騒ぐな。下々の者までよく伝達のこと。

(13)海面見通の住居の、戸障子には締りを付け、目張りをせよ。高所から、覗き見すれば、召捕入牢。

(14)火の元厳重注意、夜の無提灯を禁ず。

(15)法事などは遠慮し、葬式は手軽にし、男子のみで、夜こっそりと埋葬せよ。

(16)山々にある神社、仏閣の参詣は厳禁。

(17)音曲遊芸は厳禁。

(18)取りとめのない風説は決してするな。以上の違反者は、当人はもちろん、名主、年寄、町代、親類、組合までも、刑罰が与えられると、戒厳令が敷かれたのである。

市内では、山背泊——町端の榎形あたりまで、海上から見えたり、また上陸できないように、二メートル余の坂塀を延々とめぐらし、町内ごとに木戸を設け、杜寺は貴重品を隠し、鐘も鳴らさず、近在の村々は小児、婦女子を山中にひそませて、全市は、水を打った

日本の交渉

ように深閑として、米艦入港に備えたのである。

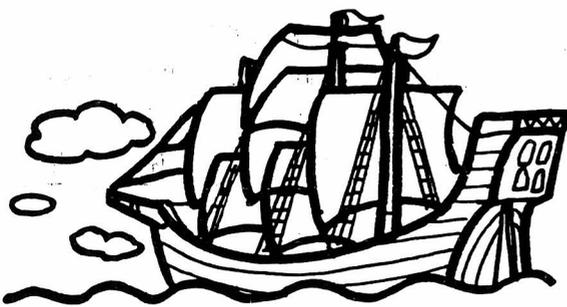
「嘉永七寅四月十五日はじめてアメリカ船三艘きたり」——三戸家の文書の書き出しである。安政元年(年号が改まる)この日、ヤマセドニヤン・バンダリア・サザンプトンの帆走艦隊は、太平洋側から、午前十時頃、尻岸内沖にあらわれ、午後二時〜四時までに、その黒影を函館に見せて入港した。引続き四月二十一日、ペリー座乗のポーハタン・ミシシッピの二艦が、黒煙を吐きちらし、午前十時入港し、五月八日まで停泊をした。

『群衆の中には、一人も女や子どもは見られなかった』——と記してあるが、松前藩では、その応待について、極度の緊張と、不安の連続であったらしい。

「箱館夷人談」には、米兵たちは、山背泊の沿岸整備の夷国船撃退用の、日本の大砲をみて、両手を小さくして『日本ポン』と笑い両手を大きくひろげて『アメリカドン』と、その威力の強大さを誇示し、米艦砲が火をふくと、箱館は、木っ葉みじんに吹き飛び、日本備砲は、小鳥撃ちのものかと、侮弄した——』と述べている。当時の、佐井沿岸台場の砲も、彼らからみれば、小鳥撃ち用にか役立つたずみえたであらう。佐井沿岸には、木製の砲身のものもあったのである。

アメリカ艦隊は、五月八日午前六時過ぎ、箱館を抜錨して去った。ようやく、市民たちは街頭へ出られ、山や谷、蔵や奥にひそみ隠れていた小児婦人たちがも出てきて、商家も開店したという。

十八日間の長い、そして緊張不安にみちた日々であった。翌安政二年三月から、箱館の開港決定と共に、佐井も、蝦夷渡海地として、人馬の往還が急に高まってゆくのである。



結核検診を 行います

結核は、めっきり減りました。
しかし、だからといって安心はできません。今なお、年間七万人が発病し、化学療法という強力な武器があるにもかかわらず、六千人以上の人が亡くなっているのです。

戸籍の窓口

三月十一日現在

◎お誕生おめでとう

坂井 千雪 (幸人) 牛滝
木下 勝平 (誠) 矢越
館脇 恵理 (義則) 矢越
若山 紋子 (朗) 古佐井
竹内 香織 (佳久) 牛滝
坪谷 亜美 (睦美) 川目
高橋みどり (昭利) 牛滝
松田 恩美 (保) 古佐井
中郷 旬子 (啓一) 古佐井
福田めぐみ (政義) 矢越
長島 新次 (新市) 大佐井

◎ご結婚おめでとう

島野 裕明 (岩男) 原田
田中 育美 (眞一) 古佐井
吉田 詠美子 (孝司) 大佐井
島野 理香子 (孝司) 大佐井
川原 成弥 古佐井
高橋 純子 所沢市
籠島 康二 新潟市
小林 奈奈子 古佐井
三浦 政人 函館市
宮川 敦子 大佐井
高橋 昭利 牛滝
田部 昭利 牛滝
佐賀 栄子 東和町
柿崎 昭子 青森市

金沢 弘義 原田
森 妙子 大畑村
帷子 真悟 大畑村
中村 よし子 矢越
大石 春美 長後
中西 博子 裾野市
川越 一正 古佐井
曾根 陽子 東京都
横濱 茂子 中道
濱岡 郁子 東京都
吉田 晃子 古佐井
古川 育子 東京都
富山 政彦 東京都
溝江 正子 古佐井
須藤 稔子 大間町
寺嶋 きよ子 中道

内田 志郎 長後
丸岡 紀子 東京都
圓子 明美 東通村
工藤 さとみ 矢越
松谷 敏明 大佐井
木下 千加子 東京都
館脇 光義 矢越
岩城 厚子 矢越
田中 功子 脇野沢村
田中 奈津美 福浦
佐藤 和憲 弘前市
萬谷 綾子 原田
嶋野 正俊 君津市
島野 眞理子 大佐井
阿部 恵子 帯広市
田中 さち子 糠森

◎おくやみ申し上げます

増田 則男 上砂川町
畑中 けい子 大佐井
立石 智久 嬉野町
内藤 ルリ子 福浦
奥本 定信 (ツエ) 大佐井
品田 高志 (かおる) 大佐井
越膳 宗助 (そよ) 福浦

昭和58年度結核検診日程

月日	場所	時間
4月19日	佐井中学校前	前 9時30分~10時30分
	佐井漁協原田支所前	前 10時40分~11時30分
	原田生活改善センター前	前 11時40分~12時10分
	中村 畳店前	後 1時20分~2時10分
	農業研修センター前	後 2時20分~3時20分
4月20日	川目生活改善センター前	前 10時 ~10時30分
	三戸ラジオ店前	前 10時50分~12時
	千葉商店前	後 1時 ~2時
	若山製材所前	後 2時10分~3時
	矢越生活改善センター前	後 3時20分~4時
4月21日	郵便局前	前 9時30分~10時30分
	本 矢 越	前 10時50分~11時30分
	磯谷集会所前	後 1時 ~2時
4月22日	坂井文男氏宅前	後 4時30分~5時30分
	福浦生活改善センター前	前 10時 ~11時
	長後滝本商店前	前 11時30分~12時20分

昭和58年度春の清掃指導日程

月日	時間	対象地区名	備考
5月9日	午前9時~12時	牛滝、長後、福浦、磯谷	
	午後1時~4時	原田、川目、矢越	
5月10日	午前9時~12時	大 佐 井	
	午後1時~4時	古 佐 井	

